

医療と利益相反

～その背景・理念と対応～

この春からの「**企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン**」施行を受け、医療者と製薬企業の関係が、過去どのようであり、今後、どうあるべきなのか？

医療者のプロフェッショナリズムの観点から、どのように考え、行動していくのが適切なのか、などについて情報提供を行います。

今後のよりよい発展のための討論のきっかけになればと思います。



とき

平成24年 **4** 月 **18** 日(水)

18:00～19:00

ところ

福島県立医科大学 第二臨床講義室

対象

医師、研修医、医学生、看護学生、大学院生、
教職員、学内外の医療従事者

講師

立教大学 社会学部社会学科

おおぶ さだよし
教授 **大生 定義** 先生



【講師プロフィール】

1977年、北海道大学医学部医学科を卒業後、聖路加国際病院で研修開始。
1999年より横浜市立市民病院に勤務。同院神経内科部長・臨床研修委員会委員長として、
診療・教育に従事。2006年より立教大学社会学部教授。横浜市立大学医学部臨床教授、
日本内科学会専門医部会幹事などを務める。

【主な出版書】

- ・神経内科診療スキルアップ（2006年シービーアール単著）
- ・白衣のポケットの中（2009年医学書院、共同編集）
- ・人間学入門－医療のプロをめざすあなたに（南山堂2009年、編集委員） など

※本セミナーは福島県立医科大学大学院共通必修科目に該当します。

公立大学法人 **福島県立医科大学 医療人育成・支援センター**
Center for Medical Education and Career Development

〒960-1295 福島市光が丘1 TEL : 024-547-1713 (直通) / FAX : 024-547-1715